

I 自己評価

| | | |
|--|---|------------------------|
| 1 学校教育目標 | 1 一人一人の個性を伸ばすとともに豊かな人間性を培う。 2 学力の向上とともに幅広い教養を身に付ける。 3 社会に貢献できる心身ともに健やかな生徒の育成を図る。 | |
| 2 評価する領域・分野 | ◇ 渉外部 | |
| 3 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等 | ・PTA総会は、生徒と保護者が参加する形式の講演会が概ね好評であった。しかし、当日指定の物品が多かった点と時間が超過した点が課題として残った。（学年別懇談会終了がかなり遅くなった。）今後も保護者の参加を少しでも増やす工夫と努力が必要である。 ・PTA就職模擬面接は、生徒のために、保護者が積極的に関わろうと努力していただいた。事前の打ち合わせを2回行ったが、保護者さんによっては不十分であるとの意見もあり、今後の実施方法などを再検討する必要がある。 ・大学研修会は大学研修とノリタケの森を組み合わせ企画した。飲料の配布をやめ参加費はワンコインとした。好評で参加者の増加がみられた。 ・文化祭バザーのアンケートにおいても、概ね良好との結果がでたが、パートによる事前打ち合わせをもう少し詳しく行った方がよいとの意見があり、次年度は役員同士の事前打ち合わせ時間を設けるようにしたい。 | |
| 4 今年度の具体的かつ明確な重点目標 | ◇保護者と生徒がよりコミュニケーションが図れる環境を整える。 ◇PTA諸活動への参加、会員の研修会への参加を一層呼びかける。 ◇自己実現・進路実現に取り組める環境を作る。 ◇地域との連携を図り、地域に愛される学校づくりを推進する。 ◇卒業生の帰属意識を高める活動を実施し、同窓会の活発化に努める。 | |
| 5 重点目標を達成するための校内における組織体制 | ・他分掌、学年会と連携することで、講演会、模擬面接、挨拶運動等の保護者が関わる行事で教員との協力体制がスムーズに作れるようにする。 | |
| 6 目標の達成に必要な具体的な取組 | 7 達成度の判断・判定基準あるいは指標 | |
| (1) PTA会報の掲載記事を厳選し、保護者が知りたい情報を得られるよう、また写真記事を通して親子でのコミュニケーションが図られるようにする。 (2) 保護者へPTA活動への参加を促すよう、積極的にPR活動を行う。 | (1) 各事業参加率 (2) 各事業に対する保護者のアンケート結果 (3) 同窓会総会等に対する同窓生の感想 | |
| 8 取組状況・実践内容等 | 9 評価視点 | 10 評価 |
| ・ 総会アンケート（4月） ・ 大学見学会アンケート（6月） ・ 就職模擬面接指導アンケート（9月） ・ 文化祭バザーアンケート（10月） | ①委員会活動が積極的に行われ組織的に取り組めたか。 ②保護者アンケートで良好な評価が得られたか。 | A (B) C D A (B) C D |
| 11 成果・課題 | ○保護者の協力により、総会、大学研修会、就職対策のための模擬面接指導など、積極的に行われている。 ○各事業に対するアンケートの実施により保護者・教職員の意見を積極的に取り上げ工夫、改善に努めた。 ▲総会や各行事参加者を増やすためのPR活動計画を役員と協力して早期から取り組む必要がある。 | |
| 12 来年度に向けての改善方策案（学校評価アンケートを踏まえて） | | |
| ・執行部の皆さんと共に、各行事の内容の見直しや、効果的なPR活動を行うことで、PTA行事への参加者を増やしたい。 ・同窓会総会に向けて、一層魅力的な総会となるよう同窓会役員・幹事学年が中心となって企画・運営する体制作りを強化していく必要がある。 ・PTA会報の紙面の充実を図り、本校の魅力をより効果的に発信できるようにする。 | | |

II 学校関係者評価

実施年月日：平成30年2月8日

| |
|--|
| 【意見・要望・評価等】 |
| ・PTAの各行事を通して、保護者が学校と連携して子どもたちを見守っているということがよくわかった。 ・保護者の積極的な協力があり、学校として安心できるのではないかと。 |